

せいび

『すすんでやります！いつでも どこでも 誰とでも』 校長 樋口 奈津子

学校教育目標「すすんでやります！成美の子」に向かって頑張っている子どもたちの姿をよく見かけます。職員室でも、「6年生のAさんが、水拭き掃除もやろうってみんなに投げ掛けていました。」など、成美っ子たちの前向きな様子が話題に上がっています。先日、学校だけでなく、家でも「すすんでやります！成美の子」を実践していることが分かり、昼の放送で全校に伝えたことがあります。

校長先生、今日の朝ごはんの後ね、お皿を2枚洗ってきたんだよ。



「忙しい朝に、お皿を洗えるなんてすごいね！」と伝えると、ちょっと照れくさそうだったBさんですが、昼の放送を聞いたときは、嬉しそうにしていたそうです。

あいさつについても、「すすんでやります！」を実践しています。ときどき、警察の方が登校時に見守りをしてくださるのですが、あいさつプラス一言ができていた人がいました。



おはようございます。いつもありがとうございます。

よく知らない方だと、まだまだあいさつできない子が多いのですが、プラスの一言までできているところを見て、（成美っ子はまだまだ成長できる！）と嬉しくなりました。「宇宙一のあいさつ」をうたっている成美小学校ですから、あいさつについて、小山町内の全学校をリードしていきたいと思っています。それに関連して、小山中学校区4校では、今年度も「あいさつ」に力を入れていくことになりました。合言葉「いつでも どこでも 誰とでも」を掲げ、まずは小山中校区であいさつの輪を広げていきます。

ちなみに、5月18日（月）のPTA理事会では、本校教務主任が保護者の皆様にも「宇宙一のあいさつをしましょう。」と投げ掛けました。みなさん、声を出そうと頑張ってくださいました。大人になると、なかなか声を張るということがないかもしれませんが、やってみると、実に気持ちが良いものです。『清々と声を出し、あいさつする』…大人も子どもも、成美から発信していきましょう。